

会議録

会議の名称	第5回子ども子育て審議会計画専門部会
開催日時	令和5年10月5日（木曜日）午前9時30分から午前11時まで
開催場所	イングビル第3・第4会議室
出席者	委員：小野委員、井上委員、島崎委員、菅野委員、関根委員、武田委員、中村委員 事務局：遠藤子育て支援部長、岡田子育て支援課長、齋藤幼児教育・保育課長、笹本幼児教育・保育課主幹、中村幼児教育・保育課主幹、河野児童青少年課長、宮崎子ども家庭支援センター長、栗林子育て支援課長補佐、本谷子育て支援課調整係主査、須藤子育て支援課調整係主事
議題	1 審議 ヒアリング調査について 2 その他
会議資料の名称	資料1 ヒアリング調査対象一覧 資料2 ヒアリングシート（案）保護者・利用者対象 資料3 ヒアリングシート（案）支援者対象
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 審議 ヒアリング調査について</p> <p>○小野部会長： 本日は、各対象者にどのようなことを尋ねるかを議論する。審議は、保護者やサービス利用者と、子育て家庭の支援者に分けて進める。始めに保護者・利用者対象のヒアリングシートについて事務局から説明願う。</p> <p>○事務局： 資料1、2に沿って説明</p> <p>○武田委員： 資料2の1ページ「知りたいこと、不安なこと」に関して、育児不安を抱えたまま保育園に入園される方も多いため、ファミリー学級参加者に困りごとなどをどこに相談しているかや、育児情報の収集について質問を追加した方が良いと思う。</p> <p>○小野部会長： 質問文にかっこ書きで追加するか。質問と回答欄を新たに追加しても良いと思うがいかがか。</p> <p>○中村委員： すぐに相談できる人や場所が減ってきているので、今の設問とは別に尋ねても良いと</p>	

思う。回答は、自由記述でも選択肢でも良いと思う。

○菅野委員

不安なことには経済的なこともあると思う。

○小野部会長：

期待と不安を分け、知りたいことや不安なことをどのように解決しているのかを回答していただく形はいかがか。

○委員：

異議なし

○事務局：

他の対象者のヒアリングシートについても合わせて修正する。

○島崎委員：

西東京市子育て応援アプリ「いこいこ」やのどかななどの市の支援やサービスを選択肢で追加し、認知度や利用状況なども聞けると良いのではないか。

○小野部会長：

出産・子育てに関する調査を実施しないことになったため、追加できると良いだろう。

○事務局：

修正する。

○井上委員：

資料2の4ページ子育てに関する団体等を運営する立場になる意向確認は、どのような意図の質問であるか。第一子の保護者の場合は、団体活動への志が高い人はあまりいないと思う。

○小野部会長：

1人目ではない場合もあると思うが、過去のヒアリング状況をみて、設問の必要性を検討いただきたい。

○井上委員：

資料2の8ページ子どもの発達に関する質問は、当日集まったメンバーの中で個人的な状況を発言しにくい点もあると思う。PTA・保護者の会にアンケートを依頼する方が、求めている回答を収集しやすいのではないか。

○菅野委員：

ヒアリングの場合、懇談会の日を予定しているのか。

- 事務局：
詳細は決定していない。
- 小野部会長：
育児不安などアンケートの方が答えやすい項目もあると思う。
- 井上委員：
PTA・保護者の会への調査票に係る事前ヒアリングは、保護者の日程調整が難しく4名程度しか集まらなかった。それを踏まえると、アンケートの方が回答は集まるのではないかと。教育委員の懇談会の日にはヒアリングを行なうなどしないと、10～20人の回答を収集するのは難しいだろう。
- 小野部会長：
ヒアリングで本音を言える人、言えない人もいるだろう。ヒアリングの良さは受け答えができるところで、深掘して話を聞くことができるため不安を解消する手段を中心に聞けると良いだろう。
個々の悩みを聞く設問に関しては、アンケートの方が良いと思うが、皆様はいかがか。
- 関根委員：
発達障害の話題については、アンケートの方が回答しやすいと思う。
- 島崎委員：
幼稚園や学校などの教育現場で発達障害と言われることもあるので、考慮できると良いと思う。
- 小野部会長：
7ページ子育てをされていて感じることは、個人の主観で答えるものが多いので、アンケートで実施することを計画専門部会では提案したい。
- 委員：
異議なし
- 島崎委員：
ヒアリングの場合、聞き手は誰か。
- 事務局：
事務局がヒアリングを行う。親子で遊びに来ているのか、保護者が会合に来ているのかなど状況によって異なるが、できるだけ落ち着いた環境でヒアリングしたいと思う。
- 小野部会長：
PTA・保護者の会は最近はあまり対面で集まっていないと思うが、いかがか。

- 井上委員：
年2回しか対面で実施していない。次回は11月中旬に実施予定で教育委員会との懇談会の日である。
- 小野部会長：
その他に何かご意見等があれば、10月10日（火）までに事務局に連絡いただきたい。また、意見等が反映されたヒアリングシートの確認は、部会長に一任いただきたい。
- 委員：
異議なし
- 小野部会長：
続いて、支援者対象のヒアリングシートについて、事務局から説明願う。
- 事務局：
資料1、資料3に沿って説明
- 小野部会長：
順に確認する。はじめに、地域福祉コーディネーターのヒアリングシートについて何かご意見はあるか。
- 委員：
特になし。
- 小野部会長：
次に、子ども食堂に関するアンケートシートについて何かご意見はあるか。
- 武田委員：
いつから活動を始めたかがあると良いと思う。
- 事務局：
追加修正する。
- 小野部会長：
具体的な活動状況は、場所・対象者など個別の欄があった方が回答いただけるのではないか。
- 中村委員：
対象者は、利用の年齢層も分かると思う。
- 事務局：
回答欄と利用の年齢層を修正する。

○小野部会長：

自由記述と選択肢の両方がある回答欄は、自由記述欄が見落とされて記入されないことが懸念されるため、上下反対にしていきたい。

○事務局：

修正する。また、他のヒアリングシート及びアンケートシートについても同様に修正する。

○小野部会長：

続いて、西東京市多文化共生センターのアンケートシートについて何かご意見はあるか。

子育てで困っている保護者や何らかの支援が必要な子どもの状況については、ヤングケアラーや発達に関する選択肢を追加しても良いのではないか。

○井上委員：

特に多文化共生センターの方々が接している子どもは、親の通訳をしているので選択肢に追加した方が良いと思う。

○事務局：

追加修正する。また、他のヒアリングシート及びアンケートシートについても同様に修正する。

○小野部会長：

続いて、子育てサークル・子育て支援団体のヒアリングシートについて何かご意見はあるか。

○委員：

特になし。

○小野部会長：

続いて、一時預かり保育事業実施者のヒアリングシートについて何かご意見はあるか。

予定では、ヒアリング先は一か所のようなものであるが、アンケートでも良いので他の一時預かり実施事業者を追加できないか。

○武田委員：

人数の多い施設にアンケートを取ることも良いと思う。

○井上委員：

市内の北側と南側で子育て家庭の状況は違うため、広く意見を収集できる方が良いと思う。

○事務局：

対象と実施方法を検討する。

○小野部会長：

続いて、ファミリー・サポート・センター サポート会員のアンケートシートについて何かご意見はあるか。

○関根委員：

最近の援助依頼の傾向の質問については、サポート会員ができる活動をアドバイザーが割り当てているので、会員自身は保護者からの依頼の傾向をあまり実感していないと思う。一方で、この項目は前回調査にもあったので、そこでどれほど有効な回答があったかは分からない。

○事務局：

前回調査の回答状況をもとに効果的な回答が得られそうかを確認する。

○小野部会長：

続いて、病児・病後児保育事業 従事者のアンケートシートについて何かご意見はあるか。

資料1では想定人数が10人未満となっているが、3名ではないのか。

○事務局：

従事者へのアンケートを予定しており、各施設2～3名を想定した人数を記載している。

○中村委員：

先ほど議論に挙げた、支援が必要な子どもの様子に関する選択肢について、発達に関する項目をこのシートにも追加するのか。

○小野部会長：

病児・病後児事業を利用する方は年に1、2回程度ではないか。

○事務局：

病児・病後児保育を利用する子どもの体調や状況によるものか、発達によるものかは判断が難しいかもしれない。

○武田委員：

病児・病後児保育事業従事者には不要だと思う。利用する人は限られていると思うが、1人がどれくらい利用しているか頻度を尋ねることも良いと思う。

家庭で過ごすことなく病児・病後児保育に預けることについては、子どもの居場所として良いのかと感ずるところもある。

○井上委員：

病児・病後児保育は利用のハードルもあるが、利用する人は普段から利用しているの

ではないか。私自身は、どうしても仕事で抜けられない場合のみ利用していた。また、施設の定員にも限りがあるので、子どもが増えると全員を預けることが難しく利用しづらくなる。子どもの精神的にも家で身体を休めることが良いと思うところはある。

○中村委員

どれくらい子どもが利用しているかを知る良い機会であると思う。

○小野部会長：

前回調査のアンケート結果を確認の上、検討いただきたい。

続いて、おやじの会に関するヒアリングシートについて何かご意見はあるか。

○中村委員：

小学校1校の予定であるが、全てのおやじの会にヒアリングできないか。

○菅野委員：

全てが難しくても中学校はヒアリングした方が良いと思う。

○小野部会長：

中学校や複数の学校への依頼を検討いただきたい。

○事務局：

検討する。

○小野部会長：

続いて、放課後カフェ運営者へのヒアリングシートについて何かご意見はあるか。

○島崎委員：

保護者との関係性が良くない子どもや、家に居場所がない子どもが最近多いように感じる。小学生にはなく、中学生に見られる傾向だと思うので、親との関係性、家での居場所などをどのように感じているかヒアリングできると良いだろう。

また、支援が必要と思われる子どもや家庭への対処や工夫に関連して、該当する子どもや家庭の情報を他メンバーや学校などと共有しているかについても確認していただきたい。

○関根委員：

子ども食堂のアンケートにも同様に追加いただきたい。

○事務局：

追加修正する。

○小野部会長：

放課後カフェや子ども食堂の運営者へのヒアリングでは、コロナ禍で活動が思うようにできなかった時期を経て、今現在活動している意義をヒアリングできると良いと思

う。

○事務局：

コロナ禍を経て変化したことがあるか設問を追加する。

○島崎委員：

私に関わっている柳沢中学校の放課後カフェも再開したところである。

○小野部会長：

審議会委員が携わっている場所があれば、柳沢中学校の活動もヒアリングできれば良いのではないか。

○島崎委員：

追加していただきたい。

○小野部会長：

続いて、児童館・児童センターのヒアリングシートについて何かご意見はあるか。高校生が多い施設で実施するのか。

○事務局：

そのとおりである。

○小野部会長：

無理のない範囲で、多くの施設の方の声を聞ければ良いと思う。

続いて、ぼくる一むのヒアリングシートについて何かご意見はあるか。ぼくる一むは、大学生などの若者がスタッフをしている施設という認識で良いか。最近まで子どもだった立場の若者の話を聞けるのは良いと思う。

○事務局：

不登校経験のある高校生や大学生がスタッフの一員として運営に携わっている場所である。

○島崎委員：

ぼくる一むの活動を手伝ったことがあり、親との関係がうまくいっていない子どももいるようであった。スタッフ自身も不登校の経験があったり、親との関係に悩みを抱えている場合もあることから、聞き方は工夫が必要ではないか。

○菅野委員：

そのような経験を誰かに話したい、発信していきたいという方もいると思う。

○島崎委員：

確かに、話して整理できることもあると思う。

○事務局：

ヒアリングの中で確認しながら、質問していきたい。

○小野部会長：

支援が必要かもしれないと感じた子どもへの対処や工夫は、小・中・高それぞれを聞いていただきたい。

2 その他

○事務局：

本日も審議いただいたヒアリングについて、部会長にヒアリングシートの修正を確認いただき、審議会への報告資料とさせていただきます。

○小野部会長：

それでは、第5回子ども子育て審議会計画専門部会を閉会する。

閉会